

マニラ首都圏主要橋梁耐震補強計画（第二期）【フィリピン】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和 7 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	フィリピン共和国
(2) 案件名	マニラ首都圏主要橋梁耐震補強計画（第二期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	マニラ首都圏内の幹線道路上の 2 橋梁（ガダルペ橋及びランビンガン橋）において、耐震性向上のための架替及び補強を実施することにより、マニラ首都圏内の交通・運輸ネットワークの災害に対する強靱化を図り、もって、災害発生時における都市機能維持能力の強化に寄与するもの。 事業内容 ・土木工事：ガダルペ橋及びランビンガン橋の橋梁架替・補強 ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：令和 2 年 1 月 7 日 イ 供与限度額：44.09 億円 ウ 金利：0.1%（コンサルティング・サービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：40 年（12 年） オ 調達条件：日本タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、2 橋梁（ガダルペ橋、ランビンガン橋）は、マニラ首都圏を分断するパッシング川を渡河する要路にあり、経済活動や周辺住民の生活上重要、かつ、災害が発生した場合の早期復旧において重要性が高いと考えられていたが、大規模地震に対する耐震要求性能を充足しておらず、損壊可能性が高いことが指摘されており、耐震性向上のための架替及び補強が求められていた。 現在においても、大規模地震の被害が多いフィリピンにおいては、依然として当該橋梁の損壊の可能性が高いことから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。

	イ 事業遅延に関する経緯・現状 詳細設計コンサルタント選定の遅延や、本体工事の入札不調等により事業が遅延していたものの、2025 年に本体工事契約済。2027 年に完工予定。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれているため、施工管理コンサルタントの調達の状況をフォローしつつ、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料